

教育委員会定例会議事録

令和3年10月19日 午後2時00分 開会

出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	戸 莉 恵理子
委 員	菅 沼 由貴子
委 員	渡 辺 時 行
委 員	山 田 清 志

説明のための出席者

教育部長	前 田 清 彦
教育部次長	高 橋 純 司
教育部次長兼学校教育課長	山 本 一 之
教育部次長兼中央図書館長	尾 崎 浩 司
庶務課長	酒 井 保 吏
学校教育課主幹	桑 野 立 吾
生涯学習課長	林 弘 之
スポーツ課長	梅 野 忠 彦
学校給食課長	林 俊 光
中央図書館主幹	中 西 明

教育長が指定した事務局職員

主 事	近 藤 邦 宏
主 事	森 下 徹

議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第32号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第3 第33号議案 令和2年度教育委員会事務の点検・評価報告書について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに、日程第1、「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、戸莉・山田 両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「高本教育長」 次に、日程第2、第32号議案「教職員の任用について」を議題といたしますが、本案は、職員の人事に関する案件となりますので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、本案は非公開とします。それでは、第32号議案「教職員の任用について」を、事務局から説明をお願いします。

「山本教育部次長」 第32号議案「教職員の任用について」を資料に基づき説明。

(以下、議事内容は人事情報に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 続いて、日程第3、第33号議案「令和2年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「酒井庶務課長」 第33号議案「令和2年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 7月の定例会で事前報告があり、今回、点検評価委員による外部評価が得られたということで議案として上程されたものです。この件について、ご質問がありましたらお願いします。

「戸蒔委員」 スポーツ課のイベント事業がコロナを受けて中止等となったことから「要改善」と外部評価がなされたものがあつたようですが、意気消沈することなく、今後はウィズコロナを踏まえて、工夫しながら継続していただければと思います。

「梅野スポーツ課長」 今回、評価委員からは「要改善」という評価がなされましたが、激励の意を込めていただいたものとなります。市民体育大会については、密を避けるため開会式や閉会式を行わずに規模を縮小して実施しようと考えていましたが、結果的に中止となりました。マラソンについても、スタートの時には大勢の方が密集しますので、スタート時間をずらすなど、色々な対策を考えておりましたが、こちらも緊急事態宣言を受けて中止になりました。来年度も新しい生活様式が続くと思いますので、ウィズコロナを踏まえて前向きに大会運営をしていきたいと考えています。

「菅沼委員」 コロナは従来の手法を見直す良い機会なのかもしれません。これまでと同じやり方で続けてきたことを、それが良いことなのか悪いことなのかと再考する機会なのかもしれません。

「高本教育長」 コロナ前と同じように戻すというのは難しいだろうと思います。この状況乗り越えながら、新しい形を模索していくということは必要なことかもしれません。

「山田委員」 評価委員から、色々な取組において、コロナで大変だったと思うがよくやっているという評価がなされており、それぞれ今後に向けた新しい在り方を整えてくださいという評価をいただいています。学校現場においても感染症対策として、マスクや消毒、黙食など様々な取組を実践しているところですが、いつかコロナ前の

形に戻れば良いと思います。マスクをつけずに、給食も楽しく食べ、マラソンも集まってスタートする、以前のようにおおらかな生活環境となれる日々を待ち望んでいます。

「渡辺委員」 シートNo.1「臨床心理士などによる教育相談の充実」について学校教育課に伺います。臨床心理士の人数ですが、評価委員からは、昨年度は増員を検討すべきであるとのコメントをいただき、今年度は増員が必須であるとのコメントをいただいています。2年続けてこのようなコメントをいただいたことについて、今後はどのように考えていますか。

「山本教育部次長」 臨床心理士の増員を望む声は多いのですが、相談件数については平成30年度からは横ばいです。予約待ちになってしまうケースもありますが、全く予約が取れないという状況ではありません。今後は、場所や人数の確保について、これらを踏まえて検討していきたいと考えています。

「渡辺委員」 そういった考えや状況について、評価委員にうまく伝える必要があると思います。記載された自己評価の文章を見ると、予約がなかなかとりづらい事業という風に見えます。評価委員は継続して就任されていますので、そのような言葉のニュアンスをもう少し整理したほうが良いと思います。

「高本教育長」 評価委員からは、前回は検討、今回は必須と語尾が強まったコメントをいただいています。このままいくと、来年度は何をやっているのかとコメントがなされてしまうかもしれませんので、表現の工夫をお願いします。

「山田委員」 関連して学校教育課に伺います。学校再開後に臨床心理士による学校巡回指導の依頼が増え、昨年度は例年よりも多い116件であったとのこと。例年の件数はどれくらいですか。

「山本教育部次長」 平成27年度から令和元年度までの巡回件数は、98件、98件、99件、100件、100件となっており、令和2年度は、例年に比べ、大きく増加しました。要因としては、休校で相談ができなかった分、学校再開後の巡回指導の依頼増加につながったと考えられます。

「山田委員」 シートNo.5「文化遺産の保護・活用の環境づくり」について生涯学習課に伺います。評価委員から、コロナの影響を各地区の伝統文化活動がどれほどの影響を受けているかを調査することも必要ではないかというコメントが寄せられています。この実態調査について何か考えはありますか。

「林生涯学習課長」 赤坂の舞台で行われる伝統芸能公演事業や、赤坂小の和太鼓など、コロナで2年実施できておらず継承が難しいのではないかとということで、このようなコメントをいただいたものと考えています。コメントをいただいたからではない

のですが、生涯学習課では伝統芸能を含めた文化財の実態調査を来年度に行いたいと考えています。文化庁が地域の文化財を保存することを推進しており、文化財として指定されていないものも含めて洗い出し、継承していくような計画を作る予定です。

「菅沼委員」 シートNo.15「学習環境の整備」について庶務課に伺います。学校トイレの洋式化率70%を達成したとのことですが、これは各校ごとに70%を達成したということなのか、全体平均として70%を達成したということなのかどちらですか。

「酒井庶務課長」 全体平均です。そのため、学校によっては70%を若干下回る場所もありますが、それでも60%台ですので、極端に低い学校はありません。

「菅沼委員」 洋式化だけでなく、数年前はドライ化までした学校があったと思います。ドライ化については、今後どのように考えていますか。

「酒井庶務課長」 トイレを洋式化だけでなくドライ化まで施工すると、倍くらいの費用がかかりますので、今後は学校の大規模改修や改築等のタイミングに併せて行っていきたいと考えています。

「菅沼委員」 先日豊川市の「みんなのトイレ」がSNSで話題になりました。このみんなのトイレは、全ての学校にあるものですか。

「酒井庶務課長」 みんなのトイレは、一般的に多目的トイレのことです。この多目的トイレは、設置スペースを大きくとる必要がありますので、校舎内設置として1校のみできていませんが、それ以外の学校では全て設置済みです。今後、屋内運動場のトイレ改修を進めていくので、校舎内に設置できていない学校については、屋内運動場に設置することで対応したいと考えています。

「菅沼委員」 商業施設では多目的トイレが単独設置されているケースが多いように感じます。学校では、多目的トイレが別に設置されていますか。それとも普通の男女別トイレと同じように並んで設置されていますか。

「酒井庶務課長」 様々です。SNSでは男女共用のトイレが話題になっていますが、これはLGBTに配慮したものとなります。この男女共用のトイレは一部の学校にしかなく、さらにその学校における全てのトイレがそのような形態となっているわけではありません。インターネット上では、女の子が男の子からいたずらされるかもしれないので配慮が足りないと心配されている方もいますが、複数あるトイレのひとつでありますし、その点については心配ありません。

「菅沼委員」 私が視察した男女共用のトイレは入口がひとつで、そこから男児用、女児用、みんなのトイレがそれぞれ設置されていて、廊下からはどこに入ったのか分からないような工夫がされていました。トイレの中で出くわすと分かってしまうかも

しれないですが、そういった配慮は評価したいと思います。「男女共用トイレ」ではなく、「みんなのトイレ」という表現も良いと思います。

「渡辺委員」 今朝の新聞で、学校トイレ手洗い場の自動水洗についての記事がありました。回答の母数があまり大きくなかったのですが、回答した自治体のうち50%を超える自治体が自動水洗にしたとの記事でした。自動水洗にしていない自治体も、今後検討していくとなくなっていました、豊川市の場合はどのようになっていますか。

「酒井庶務課長」 基本的に多目的トイレでは、自動水洗で手をかざせば水が流れるようになっています。コロナ禍ですので、自動水洗、あるいはレバー式で接触面積を抑えられるような方式に変更したほうが良いとの話もありますが、現在は学校の大規模改修等にあわせて改良しているところです。

「菅沼委員」 屋内運動場のトイレをこれから改修していくと思います。それらは避難所にもなるのだから、学校の子どもたちだけではなく、色々な方が利用することとなります。教育委員会だけでなく、市全体の課題として考えていくのも良いかもしれません。

「山田委員」 シートNo.14「学校給食施設の整備・改修」について学校給食課に伺います。蒸気式温水製造装置を修繕したとのことですが、この装置はどのようなものですか。

「林学校給食課長」 給食センターのボイラーから大量の蒸気が発生します。せっかくなので、その高熱の蒸気を利用してお湯を沸かそうというのが蒸気式温水製造装置となります。お湯を別に沸かすのではなく、発生する蒸気を利用して温水を作るといったものです。

「山田委員」 シートNo.16「教育用ICT機器などの整備」について庶務課に伺います。シンククライアントシステムの老朽化したサーバを小中学校併せて3,500万円程かけて更新したとのことですが、1人1台端末が配備されたところですか。このシンククライアントシステムについては、今後も使っていくものなのですか。

「酒井庶務課長」 シンククライアントシステムは、職員室の先生方が成績管理等で使用する校務支援システムなどで利用しており、子どもたち全員に配布した1人1台端末のシステムとは別物です。家庭用パソコン等は、端末の中にハードディスクが搭載されていますが、シンククライアント端末にはそれがありません。その代わりにサーバで遠隔管理しているものとなり、その管理サーバが23台あります。この23台を老朽化の度合いにあわせて計画的に更新しているものとなります。

「山田委員」 先日学校訪問に行った際、タブレットを用いた授業を行っていました。職員室である先生と話した際、子ども用端末は1人1台あるが、先生用は1人1台で

はなく、クラスごとに1台ずつとのことでした。校務用シンククライアント端末が先生に1台ずつあるのだから、それを使って授業の準備をし、タブレット端末に移行すれば良いと思いましたが、システムが違うからそれができないとのことでした。校務用シンククライアント端末とタブレット端末は繋げることができないのですか。

「酒井庶務課長」 職員室で先生が使う校務用シンククライアント端末は、タブレット端末の学習用環境とは別のネットワークのため直接は繋がりません。ただし、校務用シンククライアント端末も、インターネットが使える環境に切り替えることが可能です。タブレット端末は授業支援ソフトとドリル学習ソフトの2本立てで整備していますが、これらはインターネット環境により稼働するものです。つまり、先生方の校務用シンククライアント端末でインターネット環境に切り替えれば、ある程度は授業の準備が可能となります。切り替え処理が必要で手間がかかってしまうので、先生方にも1人1台の端末があれば良いかもしれませんが、子ども用とは異なり国庫補助の対象ではないので、現在はクラスごとに1台ずつという配備となっています。

「高本教育長」 7月定例会で事前説明があった際に、コロナ禍を踏まえると少し自己評価が甘いのではないかという意見を出しました。その後、自己評価が見直され、その見直し後の自己評価をもって、外部評価を受けたとのことでした。外部評価の中には、要改善と厳しい評価がなされたものもありますが、評価委員のコメントを拝見すると、しっかりやってくださいという期待値が込められているようです。今後、これが一般公開された時に、評価点だけを見ると、少しもできていないのではないかと厳しい声が寄せられるかもしれませんが、変なごまかしをせずに公表するのは必要なことだと思います。ほかにご意見、ご質問がなければ採決に移ります。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認めます。日程第3、第33号議案「令和2年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」は原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会 は閉会といたします。

(午後3時6分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員